



2015年

定時社員

総会・理事会

2014年4月1日～2015年3月31日

日時:2015年5月30日(土)

会場:大阪キャッスルホテル

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

2015年 一般社団法人日本ドラゴンボート協会
理事会・定時社員総会

○日 時 2015年5月30日(土) 午前10時から午後5時30分

○場 所 大阪キャッスルホテル(大阪府大阪市中央区天満橋京町 1-1)

【理事会】10:00-12:45

※理事会、議案は過半数で成立

【定時社員総会】14:00-16:30 ※総会、議案は過半数で成立

◇対象者81人(理事10人、終身会員12人、A団体8 B団体40団体、都道府県協会11人)

◆出席・委任合計:54人(理事10人、終身9人、A団体5、B団体25、都道府県5人)

※過半数で成立

【理事会】16:30-17:00

※理事会、議案は過半数で成立

☆JDBA 定款第12条「社員総会の議長は、理事長がこれに当たる」

第1号議案

2014年度事業報告(議長、国際委員長)

2)2014年度決算報告(事務局長)

第3号議案

3)2014年会計報告・会計監査、業務監査報告(壇税理士、西川公認会計士監査、中村監査)

第4号議案

4-1)理事・専門委員長の選任(議長)

第5号議案

5-1)2015年度予算(事務局長)

5-2)2015年度事業計画・日程(議長)

第6号議案

6)2014年各専門委員会報告と2015年度方針(各専門委員会委員長)

第7号議案

7)その他報告事項

7-1)ハイスピードカメラ購入寄付者(事務局長)

7-2)競技ルール改訂の変更点(競技委員長)

7-3)2016年第12回ADBFAアジアドラゴンボート選手権のポイントについて(競技委員長)

7-4)2015年第12回IDBF世界選手権派遣チームについて(競技委員長)

7-5)日本代表選抜構想(議長)

7-6)障害者の大会参加について(議長)

その他 IDBF ニュース、質問

【第1号議案1-1】

2014 年度事業報告

櫻井議長、菖蒲副理事長

2014年4月1日～2015年3月末まで

日時	大会名	名義
5/4	いざドラゴンカップ 2014(鹿児島・伊佐市)	後援
5/4-5	第 1 回大阪南港ATCドラゴンボート大会(大阪・南港):1 位:bp 2 位:DDT(道頓堀ドラゴンボート大会 coming soon!)、3位 大阪市立都島工業高等学校 M's power	主管
5/11	第 2 回宇治川源平龍舟祭(京都・宇治)市内 1 位チーム賑やかし、2 位 EMBLEM JAPAN 、 3 位 よゆうちからこぶ、市外 1 位:bp、2 位大阪市立都島工業高等学校 M's Power、3 位 DDT(道頓堀ドラゴンボート大会 coming soon!)	主管
5/25	東京ドラゴンボート 2014(東京)第 12 回 IDBF 世界選手権大会 一次選考会 1 位 東京龍舟 13P(世界選手権選考会ポイント 5 点)、2 位 関西龍舟シンバ 11P(世界選手権選考会ポイント 2.5 点)、3 位 東海龍舟 3P(世界選手権選考会ポイント 1 点)	主催
5/30-6/1	第 11 回 ADBF アジアドラゴンボート選手権大会(マカオ)	ADBF
6/15	第 4 回堺泉北港ドラゴンボート大会(大阪)男女混合 1 位 関西龍舟シンバ、2 位 Torrid Storm、3 位 琵琶湖ドラゴンボートクラブ、オープン:1 位 bp、2 位 関西龍舟 KALBO、3 位 PINANG PADLLER CLUB、総合:1 位 PINANG PADLLER CLUB、2 位 関西龍舟 KALBO、3 位 R.スポーツマンクラブ	後援
7/20	天神祭奉納 2014 日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪・天満橋)オープン:1 位磯風漕友会、2 位 bp、3 位:坊勢酔龍会、混合:1 位 INO-G、2 位 関西龍舟シンバ、3 位 Torrid Storm、シニア:1 位 FUJIYAMA ALL STARS、2 位 関西龍舟 KALBO、3 位:ALL BEERs、女子:1 位 SUPER DOLPHIN、2 位 TEAM 河童、3 位:KACHIDOKI CHEERS	主催
7/27	第 7 回豊見城ハーリー大会(沖縄・豊見城)500m ターンOちゅうばあ(女子)1 位 TORII LADIES、2 位 ピンクドラゴン、3 位 めだかの会、Oちゅうばあ(男子)1 位レキオウイング、2 位豊見城ドラゴン、3 位 TCFD、Oなかていー1 位 那覇電工、2 位ヤングサンバ、3 位 豊崎自治会	協力
8/3	第 7 回丸頭龍ドラゴンボート大会(福井・中角町)1 位打艇龍舟倶楽部、2 位福井鳶連合会、3 位 DCZ	主管
8/3	第 9 回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会(滋賀・大津)	後援
9/14	第 2 回スモールドラゴンボート日本選手権(滋賀・大津ボートレース場)選手権オープン 1 位津奈木海龍 A、2 位 bp、3 位津奈木海龍B、混合 1 位 関西龍舟シンバ、2 位 NPO 法人海猿火組、3 位くまもっこり、一般オープン 1 位 DDT、2 位東郷 DRAGON、3 位大阪市立都島工業高校 Ms Power、シニア 1 位 関西龍舟 KALBO、2 位 R.スポーツマンクラブシニア、3 位小寺製作所総務部、女子 1 位 SUPER DOLPHIN、2 位 TEAM 河童、3 位チームどやさっ	主管
9/14	びわ湖ドラゴンボート 1000m 選手権大会(滋賀・大津)	後援
9/14	東大島ドラゴンボート大会 2014(東京・東大島)A トーナメント 1 位ロマンズ、2 位 BON OYAGE、B トーナメント 1 位品川ストレート注水業者組合、2 位市川市役所ボート部とその仲間たち	
9/28	第 1 回猪名川ドラゴンボートフェスティバル(大阪・池田)市内 1 位池田市役所本庁野球部、2 位わいどふぁーむS・C、3 位(一社)川西青年会議所梅野丸、オープン 1 位 DDT 道頓堀ドラゴンボート大会 coming soon!、3 位びわにゃん	主管

【第1号議案 1-2】 2014年度JDBA 登録チーム(登録順)

櫻井議長

A団体登録チーム: 8チーム(昨年9チーム、一昨年 8 チーム)

① 関西龍舟(兵庫)	② 東京龍舟(東京)	③ 東海龍舟(愛知)
④ Torrid Storm(東京)	⑤ bp(大阪)	⑥ TEAM河童(大阪)
⑦ FUJIYAMA ALL STARS(東京)	⑧ 磯風漕友会(兵庫)	

B団体登録チーム: 40チーム(昨年43チーム、一昨年 50 チーム)

① Team Banana(兵庫)	② サーフだったパイザーズ(東京)	③ 福島ドラゴンボートアカデミー(福島)
④ TAITAM X DRAGONS(東京)	⑤ KACHIDOKI CHEERS(東京)	⑥ コンティネンタル・ワン(神奈川)
⑦ Chiyo Row倶楽部(神奈川)	⑧ 横浜火龍團(神奈川)	⑨ 不動技研工業ドラゴンボートクラブ(神奈川)
⑩ IHI瑞龍丸(東京)	⑪ TOKYO DRAGON(東京)	⑫ ボン・オヤージ(東京)
⑬ INO-G(埼玉)	⑭ 琵琶湖ドラゴンボートクラブ(滋賀)	⑮ 池の里LAKERS(滋賀)
⑯ IHI相生(兵庫)	⑰ すきやねん大阪(大阪)	⑱ 吹田龍舟倶楽部(大阪)
⑲ 坊勢酔龍会(兵庫)	⑳ すいすい丸(京都)	21 フォーティーズ(大阪)
22 Jungle Mania(千葉)	23 Rスポーツマンクラブ(大阪)	24 bp ジュニア(大阪)
25 team ひとつ(大阪)	26 打艇龍舟倶楽部(大阪)	27 チーム未来(大阪)
28 大阪産業大学常翔喜龍(大阪)	29 team 風(大阪)	30 一寸防士(大阪)
31 近畿車両電龍(大阪)	32 パイレーツ(大阪)	33OCTドラゴンボート倶楽部(大阪)
34 香里丘高校 5 期生(大阪)	35 関空飛龍(大阪)	36 チームどやさっ!(大阪)
37 CIC RISING STAR(東京)	38 SUPER DOLPHIN(兵庫)	39 関西龍舟(兵庫)
40 桃色吐息・青息吐息(大阪)		

都道府県別加盟数

県名	2014 年度 48 チーム	2013 年度 52 チーム	2012 年度 58 チーム
福島県	1	0	0
埼玉県	1	0	1
千葉県	1	1	1
東京都	10	14	14
神奈川県	4	1	3
静岡県	0	1	1
愛知県	1	1	2
京都府	1	1	1
滋賀県	2	3	2
大阪府	20	22	23
兵庫県	7	6	8
和歌山県	0	1	2
熊本県	0	1	0

【第2号議案】

2014年度 一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告(総会承認事項)

(2014年4月1日～2015年3月末まで)

事務局長

¥11,220,558(総収入)－¥10,988,803(総支出)＋¥1,206,520(繰越金)
＝¥1,438,275(通帳残金)

1. 収入の部

収入項目	14年度予算	14年度決算	増減	内訳
1. 会費(登録料) (内訳)	1,150,000	1,248,000		
A団体	100,000	80,000		A団体8チーム
B団体	450,000	400,000		B団体40チーム
個人ほか	600,000	768,000		所属協会・A個人
2. 検定料	300,000	297,000		バトル検定
3. 主管料	1,650,000	1,339,800		日本選手権、堺泉北 港、スモール選手権、宇 治、ATC大会
4. ボートレンタル料	120,000	120,000		ODBA 2艇
5. 雑収入	100,000	1,006,158		KIX 駅伝協力費
6. 役員・チーム 寄付金	500,000	410,000		ハイスピードカヌー寄付金
7. toto トレーニング 助成金	2,700,000	2,536,000	－176千円	東京大会、日本選手 権 toto 助成金
8. toto 大会運営 費助成	1,800,000	1,800,000		日本選手権大会 (施設費3社分)
9. 日本選手権 不足分経費戻し	0	2,433,600		サンスポ事業部より (施設費3社分)
10. 立替金	0	30,000		ATC大会ちまき代
小計	8,320,000	11,220,558		
前期繰越金	1,206,520	1,206,520		13年度繰越金
合計	9,526,520	12,427,078		

※2014年度はトレーニング経費以外に、日本選手権大会助成を申請したため収入が大幅増となりました。

2. 支出の部

支出項目	14年度予算	14年度決算	増減	内訳
1. 会費	150,000	119,515		IDBF等会費ほか
2. 交通費	400,000	138,236		
国内旅費	400,000	138,236		役員国内移動費
海外旅費	0	0		
3. 事務所費	1,000,000	1,015,310		HP管理費、税務会計 処理費、税金等
4 通信費・郵券	15,000	31,652		
理事長通信費				
海外通信費				
郵券	15,000	31,652		振込手数料
5. 会場借上げ	80,000	53,840		総会会場
6. 消耗品・補修費	150,000	110,493		ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	30,000	11,936		JDBA 役員打合
8. 海外大会役員補助	100,000	0		
9. 地方協会分配金	600,000	639,390		東京、大阪、兵庫
10ハイスピードカメラ購 入費	1,000,000	734,400		36か月ローン 2014年8月から開始
11新艇保管料	787,500	810,000		4艇・南港
12ドーピング検査	3,000,000	1,684,779		2014 東京、日本選手 権
13立替金	0	1174472		2013年日本選手権
14選手強化費	100,000	231,180		ポロシャツ製作代
15日本選手権大会経費	1,800,000	4233600		2014 日本選手権
16予備費	314,020	314,020		
合計	9,526,520	10,988,803		

※ 2013年日本選手権のドーピング費用を、資金繰りが付かず谷事務局長が1,174,472円を立替え、2014年5月に返金。

【第3号議案】 2014年会計報告・会計監査、業務監査報告
(壇税理士、西川公認会計士会計監査、中村業務監査)

【第3号議案3-1】 (収入・支出報告書)と正味財産増減計算書との調整表
(単位:円)

収入の部 小計	11,220,558
正味財産増減計算書	
経常収益計	11,220,558
支出の部 合計	10,988,803
減価償却費	1,625,033
源泉所得税	40,840
ハイスピードカメラ割賦手数料	65,672
ハイスピードカメラローン支払	△734,400
ハイスピードカメラ用ランケーブル	△3,353
源泉所得税納付	△40,840
正味財産増減計算書	
経常費用計	11,941,755

第6期

財 務 諸 表

自：平成26年 4月 1日

至：平成27年 3月31日

〒556-8663
大阪市浪速区湊町2-1-57
サンスポ事業部内

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

理事長 櫻井 顕一

貸借対照表

平成 27年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,438,275	1,206,520	231,755
前払費用	229,870	0	229,870
流動資産合計	1,668,145	1,206,520	461,625
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	2,108,828	0	2,108,828
船舶	782,626	1,503,876	△721,250
その他固定資産合計	2,891,454	1,503,876	1,387,578
固定資産合計	2,891,454	1,503,876	1,387,578
資産合計	4,559,599	2,710,396	1,849,203
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,570,400	0	2,570,400
預り金	9,189	9,189	0
仮受金	100	100	0
流動負債合計	2,579,689	9,289	2,570,400
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	2,579,689	9,289	2,570,400
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	1,979,910	2,701,107	△721,197
正味財産合計	1,979,910	2,701,107	△721,197
負債及び正味財産合計	4,559,599	2,710,396	1,849,203

正味財産増減計算書

平成 26年 4月 1日 から平成 27年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	3,884,800	3,618,870	265,930
受取補助金等			
受取民間助成金	4,336,000	705,000	3,631,000
受取負担金			
受取負担金	150,000	120,000	30,000
受取寄付金			
受取寄付金	410,000	440,000	△30,000
雑収益			
受取利息	158	160	△2
雑収益	2,439,600	0	2,439,600
雑収益計	2,439,758	160	2,439,598
経常収益計	11,220,558	4,884,030	6,336,528
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	138,236	399,752	△261,516
通信運搬費	5,320	0	5,320
減価償却費	1,625,033	950,710	674,323
消耗什器備品費	35,387	32,494	2,893
消耗品費	337,350	60,494	276,856
修繕費	111,303	132,160	△20,857
支払負担金	3,004,438	864,362	2,140,076
委託費	5,378,600	1,118,750	4,259,850
雑費	390,791	345,006	45,785
事業費計	11,026,458	3,903,728	7,122,730
管理費			
会議費	63,616	121,606	△57,990
交際費	2,160	27,751	△25,591
通信運搬費	13,568	0	13,568
租税公課	72,500	50,350	22,150
委託費	335,000	331,250	3,750
雑費	428,453	340,800	87,653
管理費計	915,297	871,757	43,540
経常費用計	11,941,755	4,775,485	7,166,270
評価損益等調整前当期経常増減額	△721,197	108,545	△829,742
当期経常増減額	△721,197	108,545	△829,742
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△721,197	108,545	△829,742
当期一般正味財産増減額	△721,197	108,545	△829,742
一般正味財産期首残高	2,701,107	2,592,562	108,545
一般正味財産期末残高	1,979,910	2,701,107	△721,197
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0

科 目	当 年 度	前 年 度	增 減
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	1,979,910	2,701,107	△721,197

監査報告

2014年度の一般社団法人日本ドラゴンボート協会の会計監査、業務監査を行なっ

た結果、決算についてすべて公正妥当であり、適正に処理されています。

会計監査

西川 京子



業務監査

中村 英作



【第4号議案4-1】 理事の選任(総会承認事項)

議長

☆JDBA 定款第20条

「理事及び監事の選任は、社員総会において総社員数の過半数を有する社員が出席し、出席した社員の過半数をもって行う」

・2015年—2016年度の理事については、下記の通り選任いたします。

○代表理事: 櫻井顕一、長谷川伸(新任)、菅蒲誠、谷達也

○理事: 後藤幸弘、宮村一、竹末佳紀、原田直己、合田靖海、山岡伸一、鎌田敦士(新任)
半田 佳彦 (新任)、江畑 直紀(新任)

○監事: 中村英作、西川京子

専門委員長・副委員長の就任(理事会承認事項)

・2015年—2016年度の専門委員長については、下記の通り選任いたします。

○競技委員長: 長谷川伸、○審判委員長: 川北尚勝、○強化委員長: 山岡伸一、オープン・混合:
江畑直紀、ジュニア: 半田佳彦、女子: 河田英幸、○評議委員長: 宮村一、副委員長: 山脇秀錬、○
国際委員長: 森永裕幸、○用器具委員長: 石川平明(新任)、副委員長: 池田和也(新任)、○法制
営業・コンプライアンス委員長: 利波敏行、○医事厚生・ドーピング委員長: 原田直己、○普及広報委員
長: 合田靖海、副委員長: 丸山春海、○科学技術委員長: 後藤幸弘

2015年度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算
(2015年4月1日から2016年3月末まで)

1. 収入の部

収入項目	14年度決算	15年度予算	増減	内訳
1. 会費 (登録料)	1,248,000	1,200,000		
A団体	80,000	100,000		1万×10チーム
B団体	400,000	400,000		1万×40チーム
個人 所属協会	768,000	700,000		2千円×250人 +所属協会
2. 検定料	297,000	300,000		パドル検定
3. 主管料	1,339,800	800,000		ATC,堺泉北、びわ湖、宇治、東京、
4. ホートルース料	120,000	0		ODBAより
5. 雑収入・協賛金	1,006,158	1,000,000		協会HP広告掲載料
6. チーム役員 寄付	410,000	400,000		ハイスピードカメラ 寄付金として
7. ドーピング助成	2,536,000	1,600,000		toto助成金 日本選手大会
8. 大会運営費 助成金	1,800,000	2,000,000		toto大会助成金
9. 日本選手権 立替経費戻金	2,433,600	0		サンスポ事業部 より
10. 立替金	30,000	0		ちまき立替
11. 日本選手権 参加料・企業協賛金	0	8,000,000		参加料、企業協 賛金
小計	11,220,558	15,300,000		
前期繰越金	1,206,520	1,206,520		
合計	12,427,078	16,506,520		

※本年より toto 助成金申請の関係で、JDBA で7月の日本選手権の収支を管理するため9は発生せず、11の収入が発生。

2. 支出の部

支出項目	14年度決算	15年度予算	増減	内訳
1. 会費	119,515	120,000		IDBF,ADBF 会費
2. 旅費	138,236	200,000		役員交通費
国内旅費	138,236	200,000		国内役員
海外旅費	0	0		
3. 事務所費	1,015,310	1,000,000		HP管理費等
4. 通信費	31,652	30,000		振込手数料
理事長通信費	0	0		
海外通信費	0	0		
郵券	31,652	30,000		振込手数料
5. 会場借上	53,840	80,000		総会会場等
6. 消耗品費	110,493	50,000		
ボート修理費	110,493			
7. 会議費	11,936	30,000		
会議費	11,936	30,000		
交際費	0	0		
8. トレーニング検査	1,684,779	1,600,000		日本選手権
9. 選手強化	231,180	200,000		世界選手権
10. 海外補助	0	200,000		菖蒲国際委員
11. 日本選手権大会運営費	4,233,600	10,000,000		水上・海上施設費他
12. 地方協会分配金	639,390	600,000		都道府県協会
13. 決勝用ハイスピードカメラ購入	734,400	1,100,000		ハイスピードカメラローン料
14. 新艇保管料	810,000	810,000		チャンピオン艇5隻倉庫代
15. 立替金	1,174,472	0		事務局長
16. 寄付金	0	300,000		大阪天満宮
17. 予備費	314,020	186,520		
合計	10,988,803	16,506,520		

01 考資料)JDBA 主催 天神祭奉納 2014年日本ドラゴンボート選手権大会収支明細

1	参加料	@130000×49 チーム	6,370,000
2	協賛金	レンゴー、大阪製紙	1,500,000
3	プログラム広告	ウイズ、フェスタル、大阪音研ほか	790,000
4	助成金	toto 助成金	1,800,000
	収入合計(税抜)		10,460,000

1	陸上施設費	(株)フェスタル関西	1,300,000
2	海上施設費	広瀬産業海運(株)	2,200,000
3	音響費	大阪音研	420,000
4	陸上シャワー	岡島工業	132,000
5	水上警備	天祥丸	800,000
6	選手・役員昼食用カレー代	橋本商店	392,000
7	氷代	日本氷業、京橋氷店	147,000
8	選手ドリンク代	大阪天満宮、ドリンクデリバリー	93,000
9	スポンサー船体シール代	セイカ・セイリグラフィ	0
10	大会プログラム印刷費	サンケイ総合印刷	139,000
11	表彰賞品・来賓シャツ	(株)ウイズコーポレーション、生駒時計店	91,000
12	備品・ライジャケなど運送費	トキワ(株)	144,000
13	大会無線機レンタル	(株)テレコム	80,000
14	水上安全協会年会費	大阪水上安全協会	92,500
15	会場の公園・棧橋使用料	大阪市、大阪水上安全協会	161,000
16	監督会議、役員宿泊費	大阪キャッスルホテル	335,000
17	警備費・ガードマン	テイケイ	225,000
18	ゴミ清掃	甲南サービス	118,000
19	興業中止保険・傷害保険	あいおいニッセイ同和損保	52,000
20	資材運搬レンタカー代	ニッポンレンタカー	42,000
21	司会者・実況	高橋征二、高野勝正の2人	71,000
22	大会安全祈禱料	大阪天満宮	92,000
23	練習会、大会前日弁当代	(株)ニチレク	100,000
24	ボランティア、役員交通費	大阪モッピークラブ、学生バイトほか	545,000
25	大会運営費	サンスポ事業部・収入の20%	2,092,000
26	北港ヨットハーバー練習会費	北港ヨットハーバー	29,000
27	雑費(打合せ費、交通費他)		567,833
	支出合計(税抜)		10,460,000

- 5月3日(日) いさドラゴンカップ2015(鹿児島・伊佐市)
- 5月10日(日) 第3回宇治川・源平・龍舟祭(京都・宇治市)
- 5月17日(日) 東京ドラゴンボート大会2015(東京・お台場)
※第12回 ADBF アジア選手権一次選考会
- 6月21日(日) 第5回堺泉北港ドラゴンボート大会(大阪・高石市)
※第12回 ADBF アジア選手権二次選考会
- 6月 8回静岡県ドラゴンボート大会御前崎市長杯(静岡・御前崎市)
- 7月19日(日) 2015日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪・天満橋)
※第12回 ADBF アジア選手権最終選考会
- 7月 日(日) 第8回豊見城ハーリー大会(沖縄・豊見城市)
- 8月2日(日) 第8回九頭龍ドラゴンボート大会(福井・福井市)
- 8月2日(日) 第10回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会(滋賀県)
- 8月8-9日(日) 第2回大阪南港 ATC ドラゴンボート大会(大阪・南港)
- 8月30日(日) 第12回 KIX 国際交流ドラゴンボート大会(大阪・泉佐野市)
- 9月 日(日) 東大島ドラゴンボート大会(東京・東大島)
- 9月6日(日) 第3回スモールドラゴンボート日本選手権大会
- 9月 日(日) 第2回猪名川ドラゴンボートフェスティバル(大阪・池田)
- 10月4(日) 第10回びわ湖ドラゴンボート1000m選手権大会(滋賀県)
ドラゴンボート・グランドシニア大会(滋賀県)
- 10月 日 中川運河ドラゴンボートレース(愛知・名古屋市)
- 10月11日(日) 第4回静岡県ドラゴンボート大会マグロ祭りツナカップ(静岡・清水)
- 10月 日(日) 大阪府民体育大会兼北港スプリント秋大会(大阪・北港)
- 11月14-15日(日) コーポレートゲームズ(東京・豊洲)
- 【国際大会】(2015年)
- ・第2回アジアクラブクルーチャンピオンシップ(中国・海南省)
 - ・8/18-8/23 第12回 IDBF 世界ドラゴンボート選手権(ウェランド、ナイアガラ、カナダ)
 - ・シーゲームズ(シンガポール) south east
- (2016年)
- ・第12回 ADBF アジアドラゴンボート選手権(オーストラリア アジエレード)
 - ・第1回ワールドビーチゲームズ(スポーツアコード主催)スペイン?
 - ・第5回アジアビーチゲームズ(ベトナム・ナートラン)
- (2018年)
- ・第18回アジア競技会(アジア大会)インドネシア

【第6号議案】

各専門員会報告

【6-1評議委員会】

宮村委員長

今期、滋賀県協会が正式に滋賀県体育協会に加盟いたしました。現在 大阪府ドラゴンボート協会と滋賀県ドラゴンボート協会の2団体が都道府県協会に加盟して日本体育協会に加盟出来る13都道府県協会に歩んでいます。各協会との意見交換等動きの悪いところが有り反省し来年度に繋いでいきます

現在の所属協会

東京・静岡・愛知・福井・滋賀・大阪・兵庫・和歌山・千葉・沖縄・福島（11団体）

各所属協会と情報交換をして大会等で多くのチームが参加できる様に普及委員会と協力していきます
所属協会が主管等をしていないドラゴンボート大会が有りましたら情報を頂き協会加盟のPRに努めます
所属協会が都道府県協会に加盟希望が有れば協力します。各所属協会及びチームの皆様から色々な情報など頂き易く出来る様な環境を作ります。

【6-2 国際委員会】

菖蒲委員長

1) 第 11 回アジアドラゴンボート選手権大会(11th Asian Dragon Boat Championships)が 2014 年 5 月 28 日から 6 月 2 日のスケジュールでマカオにて開催されました。参加国はオーストラリア、中国、台北、香港、インド、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、マカオ、そして日本の 12 か国で、日本からは関西龍舟、BP、そして津奈木海龍が参加しました。結果は以下の通りです。

	200m	500m	2000m
混合(関西龍舟) (22 人)	9 位(51.716) 優勝: 中国(46.248)	7 位(2:12.614) 優勝: 台北(1:58.736)	
オープン(22 人) BP	6 位(48.687) 優勝: インドネシア (45.109)	8 位(2:14.621) 優勝: フィリピン (2:04.486)	7 位(9:51.916) 優勝: 中国(8:24.604)
オープン(12 人)	9 位(53.004) 優勝: タイ(49.010)	6 位(2:04.817) 優勝: タイ(1:53.666)	

この大会で、森永氏は Chief、菖蒲は Assistant Chief Official という役割で責務を果たしました。また、5 月 29 日に開催されたアジアドラゴンボート連盟(ADBDF)総会にて、JDBA 副理事長の菖蒲がアジアドラゴンボート連盟常任理事に任命されました。この総会において、次回(第 12 回)アジアドラゴンボート選手権大会は 2016 年 5 月にオーストラリアのアデレードで、また第 1 回アジア・クラブ・クルー・チャンピオンシップ(1st ACCC)が 2015 年 11 月に中国・仏山市で開催されることが決定しました。1st ACCC について、まだ詳細は届いていません。

2) 第 9 回世界クラブ・クルー・ドラゴンボート選手権大会(9th Club Crew World Dragon Championships)が 2014 年 9 月 3 日から 7 日までイタリアのラベナで開催されました。日本からのチーム参戦はありませんでしたが、JDBA から森永氏、菖蒲の 2 名が大会運営役員として参加しました。この大会には 127 か国・地域から 145 のクラブチームが 900 のカテゴリーで参戦し、5 日間を通して 338 レースが組まれましたが、その参加総数は 5400 名を数えました。世界のドラゴンボート競技の隆盛を実感しました。

レース結果の詳細については、IDBF の「Dragon Boat International」を参照して下さい。

3) IDBF メンバー・シンポジウム(IDBF Members Symposium)が 2014 年 12 月 5 日から 7 日まで、世界各地から 18 ヶ国が参加してマカオで開催され、日本からは JDBA を代表して菖蒲が出席しました。シンポジウムでは、メディアへのアプローチ方法、メンバー間の情報共有システム、IOC 加盟への進捗状況など、ドラゴンボート競技に関わる全般的な課題について討議されました。また、アジア、ヨーロッパ、オセアニアなどから、それぞれの大陸別ドラゴンボート競技の普及状況について説明がありました。

2014 年度において、国際委員会が関わった ADBDF、IDBF 関連の大きなイベントは上記 3 件ですが、これらの案件に関わっているのは森永氏、菖蒲の 2 名だけです。2015 年はカナダ・ウェランドにて世界ドラゴンボート選手権大会が開催され、日本からは 80 名 - 90 名の選手が参加予定ですが、IDBF やカナダの現地オフィスとの連絡など、かなりの負担を抱えています。ドラゴンボート競技が今後ますます普及することが予想される状況下で、2 名で対外的な案件に対処するには限界がありますので、国際審判資格を保持しているメンバー、あるいはこれから取得する意欲のあるメンバーでも構いませんので、国際委員への登録をお願い致します。

1. 2014 年度活動計画 vs.実績

★ 活動計画 1. 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー

【実績】 ① C級→A級特別昇級認定（JDBA 認定）

・該当者なし

② C 級→B 級昇級認定（JDBA 認定）

・該当者なし

③ JDBA HP 審判資格者リストのアップデート

・C 級新規取得者をリストに追加

④ 審判員制度発足時(2008 年)の C 級取得者に関する情報の確認と修正作業

・新たな情報入手が出来ず、修正作業は進展しなかった

（参考1） C 級新規取得者（都道府県協会認定）

・14 名(東京都協会 2 名、大阪協会 7 名、兵庫協会 5 名)

但し、大阪協会と兵庫協会分は申請書類提出時期の関係で 2014 年 3 月 30 日に遡って認定した

（参考2） 審判資格者の級別合計人数(2014 年度末現在)

・上級 25 名、 A 級 30 名、 B 級 25 名、 C 級 125 名、 計 205 名

★ 活動計画 2. 審判員資格体系の見直し・改訂・整備

【実績】 見直しを行ったが、特に新たな変更や懸案事項がなく、改定・整備は行わなかった

★ 活動計画 3. 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定

【実績】 2015 年度 JDBA 競技者規定に沿って改定すべく次年度に先送りとした

2. 2015 年度活動計画

(1) 審判員資格取得の推進と取得後のフォロー

(2) 審判員資格体系の見直し・改訂・整備

(3) 審判員認定講習会テキストおよび試験問題の改定

以上

科学研究委員会(2015)

「本年度の予定」

①スタンダード艇を用いた10人乗りと20人乗りレースの速度変化・記録やピッチとストローク長の比較研究

注)大阪産業大学の田中先生、プール大学の灘本先生の両名が科学研究部委員として参画いただけることになったので、上記の課題については解明したい。

科学研究委員会 2014 年度の報告

「科学研究部設置の趣旨」は、理事会の諮問ならびに会員、委員の要望を受け、ドラゴンボートに関する調査・研究を行い競技力向上ならびに普及に貢献することにある。

①2013 年度に引き続き、世界各国のドラゴンボートの現状調査を行う。

IDBF 加盟の各国の主要大会(フェスティバル大会を含む)について等。

(開催方法、種目、参加状況、競技レベル、大会の歴史、大会ルール、使用ボート、パドル等)

②日本においては、協会の管理外のドラゴンボート大会の把握

③ドラゴンボート選手の体力調査

ドラゴンボート選手に必要な体力要因の究明

わが国代表選手の体力の実態調査

④ドラゴンボート選手の体カトレーニング法の調査研究

⑤会員からの要望があれば、技術分析、速度を構成するピッチ、ストローク長の測定を行う。

2014 年度は、上記の計画を予定していたが、委員長の公務が多忙であったことにより、計画が殆ど進んでいない。

①②については、若干の資料は収集できているので次年度まとめて報告することにしたい。

上記、以外で日本選手権において速度変化の記録を試みた。

新しい機器を購入(委員長の研究費)後初めて測定で操作になれていなかったこともあって十分なデータは得られなかったが、トップチームは、スタート 10 秒後に最高速度(秒速 4.75 前後)に達し、その速度をゴールまで維持できていた。世界選手権で入賞するためには、この速度を秒速 5m 以上に高める必要がある。

【第7号議案 7-1】 14年度ハイスピードカメラ購入寄付者・団体

事務局長

合計410,000円(入金順)

チーム・団体・個人名(入金順)	所属	寄付額
① 菖蒲誠	JDBA 役員	30,000円
② 有坂正和	愛知県協会	10,000円
③ 琵琶湖ドラゴンボートクラブ	登録チーム	30,000円
④ 木村一郎	大阪府協会役員	10,000円
⑤ 矢田節彦	JDBA 役員	30,000円
⑥ 東京都ドラゴンボート協会	東京都協会	30,000円
⑦ 前嶋清	東京都協会役員	10,000円
⑧ Team Banana	登録チーム	30,000円
⑨ 原田直己	JDBA 役員	40,000円
⑩ 福島ドラゴンボートアカデミー	福島県協会	30,000円
⑪ 橋本正勝	JDBA 役員	10,000円
⑫ bp	登録チーム	30,000円
⑬ 宮村一	JDBA 役員	30,000円
⑭ 森岡幸雄	JDBA 役員	10,000円
⑮ 森岡真弓	JDBA 役員	10,000円
⑯ 押谷宏史	関西龍舟	10,000円
⑰ 櫻井顕一	JDBA 役員	30,000円
⑱ 谷達也	JDBA 役員	30,000円
合計		410,000円

※本年も引き続きご寄付への協力をお願いいたします。

第8条 推進方法(propel)

- 1) パドラーは、大会実行委員会の貸与パドル若しくは、公認マイパドルを使用し、進行方向を向き、座して漕ぐ。パドルは艇に固定してはならない。
- 2) 舵取り(ステアーズマン)は、専ら自艇に与えられたレーン中央の維持に責任を持つ。
- 3) ドラマーは、競技の伝統、推力発揮のため、競技中積極的に連続してドラムをたたかねばならない。また、マイパチを使用する場合は、検定委員の検査を受けなければならない。
- 4) これらに反した場合、失格またはタイムペナルティ課す場合がある。

第25条 発艇(Start)

- 7) ドラマーは、「ATTENTION」「Go!」の発艇合図まで、1本のパチをドラムの上に接触し、発艇合図の「Go!」を待つ事。「Go!」の前にパチを上段に構えてスタートした場合は、フライングと判断する。
- 8) 発艇の合図を待つクルーは、発艇員の「ATTENTION」の音が聞こえたら、静止し他クルーの集中力を徐がないように静かに「GO」の合図を待つこと。発艇員の合図と紛らわしいクルー勝手な発声を禁止する。
- 9) 風や波によりスタート準備が出来なかった場合は、ドラマーが両手若しくは、片手を高く上げ左右に大きく振り発艇員に合図すること。

2014年12月14日理事会で改訂

【第7号議案 7-3】 第12回 ADBFアジアドラゴンボート選手権選考会ポイント

競技委員長

2016年オーストラリア・アジェレードで開催の第12回アジアドラゴンボート選手権の代表選考を東京大会、堺泉北港大会、日本選手権大会で選考します。ポイントは以下の通り。

- ☆東京大会 5/17 1位5点、2位2.5点、3位1点
- ☆堺泉北港大会 6/21 1位5点、2位2.5点、3位1点
- ☆日本選手権 7/19 1位12.5点、2位5点、3位2点

※同ポイント場合は日本選手権での成績を上位とする

※育成種目の女子、シニアについては、自己責任で重複乗艇可。決勝戦での舵取り派遣可。女子は太鼓、舵取りは男子可。※レース進行では配慮しない。

【第7号議案 7-4】 第12回 IDBF世界選手権・派遣チームについて

菖蒲副理事長

・2015年8月17日-8月24日までカナダ・オンタリオ州・ウエランドで開催予定の第12回世界選手権大会に22人乗り艇のオープン代表として3チームが出場します。

【第7号議案 7-5】 日本代表選抜構想について

櫻井議長

- ・候補地:兵庫県相生市他
- ・選抜方法等

【第7号議案 7-6】 障害者の大会参加について

櫻井議長

- ・障害者のドラゴンボートへの参加は、平等で公平にその機会を与えられなければならない。本協会では安全性に充分配慮し、各大会において障害者の受入れを推進する。

【IDBF ニュース】

苜蒲副理事長

IDBF News Magazine, April 2015 – Issue Number 30

Spring Edition



IOC President with the IDBF President.

MAKING SLOW BUT SURE PROGRESS TOWARDS IOC RECOGNITION

In his report to the IDBF Council in Ravenna, on the 8th September 2014, the IDBF President, Mike MacKeddie-Haslam, said that slow but sure progress was being made towards recognition for the IDBF as an IOC International Sports Federation (ISF). The IOC President, Thomas Bach, said in November 2013 that the IDBF Application was in good hands. Mike MacKeddie-Haslam told the Council that he had recently had a very constructive meeting in Lausanne, with staff from the IOC Sports Dept, who had advised him of the outstanding criteria to meet before the IDBF application could be submitted to the IOC Executive Committee.

Of the 54 criteria for IOC recognition the IDBF has now satisfied the majority of them. The remaining criteria mainly concerned different policies and working committees, such as an **Athletes Commission**, **Sport for All Commission** and an **Entourage Commission**, that the IDBF will need to have in place to bring the Federation into line with those ISFs presently recognised by the IOC. As some of the policies and commissions involved will need the approval of the IDBF Member's Congress or ratification by the Congress and then the commissions have to be seen, by the IOC, to be active, the President's view was that it would be towards the end of 2016 before the IDBF could become an IOC recognised federation. But this will only be the first big step towards Dragon Boating becoming an Olympic Sport – and that's another story.

理事会議事録

・第1号議案 2014年事業報告とJDBA登録チーム

議長は、2014年度の実業報告と登録チームの報告を行った。

原田理事よりドーピングの収入は、2013年度分も含んであり3大会分である。

・第2号議案 2014年度決算報告の件

事務局長は、2014年度の決算報告を述べ、一同に諮ったところ全員一致の賛同を得た。

・第3号議案 2014年度会計報告・会計監査・業務監査の件

壇税理士より正味財産増減計算書との調整表の説明があり、一同に諮ったところ全員一致の賛同を得た。また、議長より、過日、西川会計監査、中村業務監査より監査について適正な処理が行われている旨の報告が行われた。

・第4号議案 理事長、副理事長及び事務局長選定の件

議長は、代表理事たる理事長、副理事長及び事務局長を選定する必要がある旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を理事長、副理事長及び事務局長に選定した。被選任者は、席上就任を承諾した。

理事長(代表理事) 櫻井 顯一

副理事長(代表理事) 菖蒲誠

副理事長(代表理事) 長谷川伸

事務局長(代表理事) 谷達也

・第4号議案 理事及び監事選任の件

議長は、定款の定めにより、理事及び監事全員を平成23年3月31日に終了する事業年度に関する定時社員総会で改選する必要があったが、改選されなかったため、平成23年5月30日任期が満了しており、その改選の必要がある旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を理事及び監事に選任し、被選任者は、席上就任を承諾した。

理事 櫻井 顯一 理事 菖蒲 誠 理事 谷 達也 理事 長谷川 伸

理事 後藤幸弘 理事 宮村一 理事 竹末佳紀 理事 原田 直己

理事 合田靖海 理事 山岡伸一 理事 半田佳彦(新任) 理事 鎌田 敦士(新任)

理事 江畑直紀(新任)

監事 中村 英作 監事 西川 京子

櫻井理事より、各専門委員会の委員長、副委員長の追加、変更は臨時理事会にてはかる。

・第 5 号議案 2015 年度予算の件及び事業計画・大会日程の件

事務局長は、2015 年度の予算計画を述べ、一同に諮ったところ全員一致の賛同を得た。
また、議長より 2015 年度の事業計画と大会日程が報告された。

・第 6 号議案 2014 年度専門委員会報告と 2015 年度事業方針の件

各専門委員長より 2014 年度の事業計画の報告と 2015 年度事業方針が報告された。
(宮村評議委員長、菖蒲国際委員長、川北審判委員長)

・第 7 号議案 その他報告事項

事務局長より 2014 年度のハイスピードカメラの寄付者が報告された。また、議長より 2015 年度の競技規則の変更点が報告された。

菖蒲副理事長より 2015 年世界選手権の派遣チームの紹介が行われた。

相生・河田氏より日本代表選抜構想の説明があり、今年度から、準備委員会を作る。来年の春には稼働したいとの報告。

江畑強化委員から選抜大会は IOC の傘下の大会として認識。強化委員の中で来年の春までに構築したいとの報告。

総会議事録

・第1号議案 2014年度事業報告とJDBA登録チームの件

議長は、2014年度の事業報告と登録チームの報告を行った。

・第2号議案 2014年度決算報告の件

事務局長は、2014年度の決算報告を述べ、一同に諮ったところ全員一致の賛同を得た。

・第3号議案 2014年度会計報告・会計監査・業務監査の件

壇税理士より正味財産増減計算書との調整表の説明があり、一同に諮ったところ全員一致の賛同を得た。また、西川会計監査、中村業務監査より監査について適正な処理が行われている旨の報告が行われた。

・第4号議案 理事長、副理事長及び事務局長選定の件

議長は、代表理事たる理事長、副理事長及び事務局長を選定する必要がある旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を理事長、副理事長及び事務局長に選定した。被選任者は、席上就任を承諾した。

理事長(代表理事) 櫻井 顯一

副理事長(代表理事) 菖蒲誠

副理事長(代表理事) 長谷川伸

事務局長(代表理事) 谷達也

・第4号議案 理事及び監事選任の件

議長は、定款の定めにより、理事及び監事全員を平成23年3月31日に終了する事業年度に関する定時社員総会で改選する必要あったが、改選されなかったため、平成23年5月30日任期が満了しており、その改選の必要がある旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を理事及び監事に選任し、被選任者は、席上就任を承諾した。

理事 櫻井 顯一 理事 菖蒲 誠 理事 谷 達也 理事 長谷川 伸

理事 後藤幸弘 理事 宮村一 理事 竹末佳紀 理事 原田 直己

理事 合田靖海 理事 山岡伸一 理事 半田佳彦(新任) 理事 鎌田 敦士(新任)

理事 江畑直紀(新任)

監事 中村 英作 監事 西川 京子

- ・第 5 号議案 2015 年度予算の件及び事業計画・大会日程の件
事務局長は、2015 年度の予算計画を述べ、一同に諮ったところ全員一致の賛同を得た。
また、議長より 2015 年度の事業計画と大会日程が報告された。

- ・第 6 号議案 2014 年度専門委員会報告と 2015 年度事業方針の件
各専門委員長より 2014 年度の事業計画の報告と 2015 年度事業方針が報告された。
後藤理事より堺泉北港大会の JDBA の立場を「後援」から「主管」に要請。
菖蒲理事よりアジア連盟の常任理事就任の報告、世界選手権には 90 人参加の報告。
木村氏、宮村氏より C 級から B 級、B 級から A 級への更新はどうしているのかの質問。
→今後、審判委員会で整理をする

- ・第 7 号議案 その他報告事項
事務局長より 2014 年度のハイスピードカメラの寄付者が報告された。また、議長より 2015 年度
の競技規則の変更点が報告された。
議長より、その他の変更として、1 分前のコールは本年より行わないとの報告。
(順序)
チーム名コール→ドラ→「アーユレディ・アテンション・ゴー」
菖蒲副理事長より 2015 年世界選手権の派遣チームの紹介が行われた。
日本代表の選抜について議長より相生での活動について、早く推進していくとの説明。

以上